

## 【進捗状況】※水道局の方針：算定期間を令和8～12年の5年間で計画

### (1) 水需要の見直し

- ・水道メーターの検針水量から地域ごとの有収水量を積算。(令和4年度ベース)
- ・漏水状況や使用量のピークを考慮し、地域ごとの配水量の見込みを作成。
- ・上記の配水量、各施設の高低差及びポンプ能力による圧力を条件に、浄水場ごとに管轄区域のシミュレーションを行い、施設の統廃合を含めての検討中。

### (2) 整備計画の見直し

- ・平成28年度から進めている広域化事業、運営基盤事業など整備計画の進捗状況を確認し、現計画において実施予定である残事業を抽出。
- ・残事業の優先度及び実施の必要性を精査するとともに、今後必要な工事を検討中。  
※新たに重要給水拠点(災害時の避難場所や活動拠点)を設け、各水道施設から重要給水拠点へ向かうルートを選定中。管路の耐震化を推進予定。
- ・今回の料金算定期間(令和7年度)までに実施するもの、算定期間内に実施するもの、算定期間以降(令和13年度以降)に実施するものに、割り振りを検討中。

### (3) 財政計画の見直し

- ・上記(2)で、計画の可否、手法の変更などに係る工事について、実施予定年度の単価を見込んで積算、比較検討中。
- ・上記(2)で計画予定の事業費を工事区分ごと(管路、施設、設備など)に積算予定。
- ・料金算定期間前、算定期間内、算定期間以降の区分で今後の更新需要を算出し、現在の料金体系や給水収益から経営状況を予測予定。

### (4) 上記(1)～(3)の検証・検討結果を調整

- ・条件の変化に応じて、各項目の調整を図り、最適な計画や料金体系を検討する。